

承認番号 RD6509-005

文書番号 17111878

平成 29 年 11 月 28 日

断熱・吸音材用接着剤
スプレーボンド G1 試験成績書

株式会社タイルメント
技術開発センター

1. 目的

断熱・吸音材用接着剤「スプレーボンド G1」の接着性能を行った。

2. 試験項目

接着性能評価試験

3. 供試試験材料

被着材料: ガラスクロス (25×200mm)

下地材料: 亜鉛鉄板

4. 試験方法

接着性能評価試験

(1) 試験体の作製

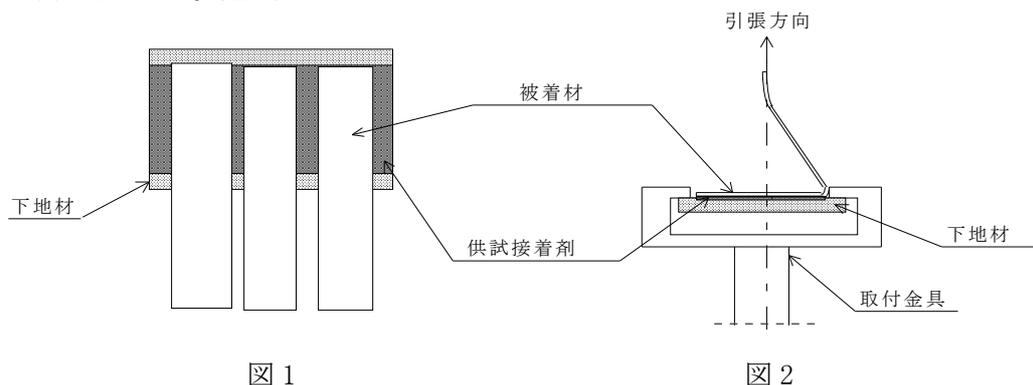
標準状態 (23±2℃、50±10%RH) において、接着剤を均一に噴霧し、25mm 巾にカットした被着材を張り付け、ローラーにて圧着し、90 度はく離試験の試験体とした。(図 1)

(2) 試験条件

標準状態にて 72 時間養生後、5℃、23℃、40℃、60℃各雰囲気内にて 1 時間放置させる。

(3) 測定条件

テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 200mm/min にて、はく離試験の測定を行った。(図 2)

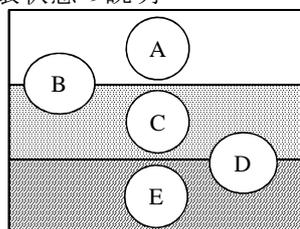


5. 試験結果

接着性能試験

		スプレーボンドG-1	
		N/25mm	kgf/25mm
5°C	1	7.50	(0.74) B10C90
	2	8.85	(0.87) B10C90
	3	7.09	(0.70) B20C80
	ave.	7.81	(0.77)
常温 (23°C±2°C 50±10%RH)	1	12.00	(1.18) B30C70
	2	11.59	(1.14) B30C70
	3	12.50	(1.23) B20C80
	ave.	12.03	(1.18)
40°C	1	11.25	(1.10) B30C70
	2	10.78	(1.06) B20C80
	3	11.46	(1.12) B20C80
	ave.	11.16	(1.09)
60°C	1	4.40	(0.43) B40C60
	2	4.25	(0.42) B50C50
	3	4.38	(0.43) B40C60
	ave.	4.34	(0.43)

※破壊状態の説明



- A・・・被着材料の破壊
- B・・・被着材料と接着剤の界面破壊
- C・・・接着剤の凝集破壊
- D・・・接着剤と下地の材料破壊
- E・・・下地の材料破壊

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。